

青森中央学院大学__地元産業界などとの地域の課題解決に向けた連携事業

令和3年度

事業名	連携している地元産業界等の組織名称	当該連携事業における地域の課題	課題解決に向けて設定した目標	取り組みの内容
浅虫地区クア（健康）ウォーキングガイドサポート事業	青森商工会議所 浅虫温泉観光協会 あもりクアガイド協会	近年、健康作りの観点は個人の責務から社会環境の整備による健康づくりへと転換が図られてきた。これにより地域の様々な資源を活用した、より積極的な取り組みが促進されている。また、かつては県内随一の温泉保養地として賑わっていたが衰退している、青森市浅虫温泉地区の活性化が課題となっている。	浅虫地区では、豊かな自然環境と温泉地といった観光資源を活用した健康ウォーキングが実践されている。このウォーキングが安全に実施されるようガイドのサポート活動を積極的に行うとともに浅虫地区の魅力をPRしていく。	学生によるウォーキングガイドのサポートや、サポートマニュアルの作成、地域資源を活かした商品作りや、パンフレット作成などにより活動をPRしていく。
アジアからのグリーンツーリズム推進事業	アジアからの観光客誘致推進協議会（青森県、市町村、J A、農家民泊団体など）	農閑期の所得の向上のために県内各地で取り組みをはじめたグリーンツーリズムについて、他県と比べ後発であったため国内からの教育旅行の新たな誘致が難しい。 ・アジア各国では「青森」の知名度が低いため、農水産物に高い付加価値をつけることが出来ない。	台湾を中心にアジア各国からの教育旅行を誘致し、青森県内の農家民泊を体験してもらうことにより、農閑期の農家収入を増やすだけでなく、青森ファンを増やし、将来的な青森県の農水産物の輸出につなげていく。	台湾、タイ等をはじめとしたアジア各国からの教育旅行について、本学の卒業生等を活用したネットワークで誘致し、誘致後の県内での交流活動についても、県内の受入れ団体等とのコーディネートを行う他、県内小中高校との学校交流のサポート等を行っている。
上北地域援農事業	J A ゆうき青森 青森県上北地域県民局	青森県上北地区は、根菜類の大規模生産地として一定の農業生産を行っているが、農家の高齢化等により農繁期の人手不足が課題となっている。	J A と協力しながら、学生を中心とした援農学生の派遣制度をシステム化し農繁期の人手不足に対応していく。	J A が窓口となり地元農家と協議会を結成し、農繁期に定期的にアルバイト学生の派遣を行っている。
サイクルツーリズムの推進事業	青森県サイクルツーリズム推進協議会（青森県、市町村、観光事業者など）	新たな雇用創出の場として期待されているサイクルツーリズムについて、青森県は豊かな自然環境等もあり適地ではあるが、受入れ環境等が整備されていないため、受入数が多くない。	イベントの開催、新たなツアーメニューの企画や広報により青森県でのサイクルツーリズム参加者を増やし、新たな雇用を創出していく。	サイクルマップの作成、各種セミナーの開催、サイクリングガイドの養成など
社会デザインビジネスラボin青森	青森商工会議所	人口減少をはじめ地域には様々な課題があるが、課題解決について、行政主体での地域課題解決だけではなく、ビジネスの手法を活用した社会的起業を行うために、最新の知見を学び、具体的な活動を起こす必要がある。	社会的起業を行うために、地元の産業界だけではなく、様々な企業、地域起業家等とネットワークを構築し、課題解決に向けた起業を行う。	セミナー、ワークショップの開催、ネットワークの構築

※各取り組みについては、学内・外での報告会を行う他、青森中央学院大学外部評価委員会において、評価・点検を実施しています。